

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年度）評価概要

○全体総括

これまで「全体評価」については、項目ごとに平均値を再計算した KPI の値により判断していたが、今後は各 KPI の達成状況に重きを置いて評価を行うこととする。計画の初年度ということもあるが、KPI の達成割合が低いため昨年度までに比べ全体評価のうち「やや不良」の割合が増えている。

また、昨年度は新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、当初想定した事業を実施できなかったことも要因の一つとして挙げられる。

【参考】昨年度までの判断基準

- 良 好：KPI の全てが達成されている
- 概ね良好：KPI の達成度の平均値が 70%以上である
- やや不良：KPI の達成度の平均値が 70%未満である
- 不 良：KPI の達成度が全て 0%である

○全体評価の判断基準

目標ごとの「全体評価」については、数値目標（KPI）に基づく成果により判断し、次の基準により記載する。

- 良 好：KPI の達成度が全て 100%以上である
- 概ね良好：KPI の達成度が 80%以上の割合が 6 割以上である
- やや不良：KPI の達成度が 80%以上の割合が 6 割未満である
- 不 良：KPI の達成度が全て 0%である。

また、5年間（計画期間）の累計の値で指標とするもの（新規就農者数や空き家成約数 等）については、今回の評価対象が初年度（令和2年度）であるため、5倍した値を達成度とする（例：20%⇒100%）。

なお、現時点で実績値を計測できていない目標の「全体評価」は、施策の実施状況により判断し、次の基準により記載している。

- 良 好：全ての施策が「実施済み」である
- 概ね良好：9割以上の施策が「実施済み」である
- やや不良：9割未満の施策が「実施済み」である
- 不 良：「実施済み」の施策が無い

●基本目標1 若者たちの地元定着と交流・移住の促進を図る

1 全体 KPI

指標	指標値	実績値	達成・未達成
若者(15歳～39歳)の社会増減数	△56人(R2～R6計)	△59人(R2)	未達成

- 2 実施状況 実施済み：125、R3 実施予定：8、検討中：14（※実施率：85.0%）
- 3 KPI 達成状況 達成：11、未達成：17（※達成割合：39.3%）
- 4 全体評価 良好：1、概ね良好：1、やや不良：8、不良：2

5 総括

全体 KPI については、計画の初年度であるが既に実績値が目標値を下回っており、若年層の社会減に歯止めがかかっていない状況である。

また、各 KPI については、初年度のため効果が表れていない部分もあるが、特に人口増に関連する KPI が達成できていない。事業の実施率は高いものの、新型コロナウイルス感染症に伴い、人の移動が制限された影響もあり、KPI の達成状況も 39.3%に留まり、効果的な事業の実施が必要となる。

●基本目標 2 結婚に対する意識を醸成し、出産・子育てのしやすい環境を整える

1 全体 KPI

指標	指標値	実績値	達成・未達成
出生者数	174 人 (R2～R6 計)	15 人 (R2)	未達成
合計特殊出生率	1.75 (R6 時点)	1.62 (R1)	未達成
婚姻数	140 組 (R2～R6 計)	20 組 (R2)	未達成

2 実施状況 実施済み：39、R3 実施予定：2、検討中：1 (※実施率：92.9%)

3 KPI 達成状況 達成：5、未達成：3 (※達成割合：62.5%)

4 全体評価 良好：1、概ね良好：2、やや不良：2、不良：1

5 総括

新型コロナウイルス感染症による医療不安等に伴い、全国的な傾向と同様に出生者数が減少している。未婚の方を含む子育て前の住民に対する積極的な周知と事業の実施が必要となる。

R1 の合計特殊出生率は山形県 1.40 に対して、朝日町は 1.62 と高い値であり、KPI 達成状況が高いことから事業の効果が現れたものと言えるが、昨年度の値 (H30:1.70) からは減少している。

県内平均の合計特殊出生率と比較して高い値となっているものの、社会減の影響も少なからずあると考えられることから、現に住居を置いている住民はもちろんのこと、移住や定住に向けた啓発や施策も併せて行う必要がある。

●基本目標 3 高齢者や障がい者がいきいきと住み続けることのできる環境を整える

1 全体 KPI

指標	指標値	実績値	達成・未達成
要介護認定を受けていない 65 歳以上の人の割合	81% (R6 時点)	82.7% (R2 時点)	達成

2 実施状況 実施済み：26、R3 実施予定：3、検討中：0 (※実施率：89.7%)

3 KPI 達成状況 達成：4、未達成：3 (※達成割合：57.1%)

4 全体評価 良好：1、概ね良好：2、やや不良：1、不良：1

5 総括

全体 KPI については、実績値が指標値を上回っている。

KPI 達成状況が 57.1%、全体評価のうち「良好」又は「概ね良好」が全体の 60.0%と他の基本目標に比べ高く、事業の効果が表れているものと言える。

全体的な事業の実施率は高いものの、障がい者に対する事業等、幅広い施策の積極的な実施が求められる。